

平成 27 年度主な事業報告

- こども園の開園
- 開園時間の延長
- こども園給食費の実質無料化
- 保育料の整備
- 公園の整備（別添）
- その他既存の制度の運営維持

平成 28 年度以降の主な取り組み予定

子育て世代の負担軽減

【通園バスの無料化】

こども園・小学校の通園バスの無料化を平成 28 年度に実施したいと考えております。

【ふるさと吉野定住促進奨学金の継続】

ふるさと吉野定住促進奨学金制度を次年度も実施します。

【その他子育て世代の補助について】

子ども医療費無料化等の既存の制度は次年度以降も継続し、その他必要な補助についても審議していきます。

子育て支援の充実

【遊び場の確保】

ニーズ調査で 76%の方が、身近に遊べる場所が少ないと回答しました。その結果を踏まえ、平成 27 年度中に、運動公園に大型遊具を設置いたします。次年度以降も、継続して遊び場、子どもと親の交流の場について検討していきます。

【子育て世代の交流】

子育ての不安や悩みを解消し、安心して子育てを行えるよう、妊婦を対象とした相談体制の充実、新生児訪問等を継続して行っていきます。また、子育てサポーター等の支援者の専門的知識や技能を向上し、未就園児親子の交流や情報交換の場をさらに充実していきます。

教育内容の充実

【情報化社会への対応】

中学校についてはH27年度にパソコン教室のパソコンを総入れ替えします。

情報化社会へ対応を推進します。小学校に情報通信機器を導入し、ICT教育を推進します。(予定)

【木育・ウッドスタート】

乳幼児に木のおもちゃをプレゼントしたり、こども園に木製玩具を導入することにより、木の文化を伝え、環境を守り、子どもの心を豊かにし、経済を活性化させる取り組みを推進します。

【図書室の充実】

現在、家で1日あたり30分以上読書をする児童・生徒の割合は16%ということが、全国学力・学習状況調査でわかっております。町でもその現状を重く受け止め、各学校で、図書室の図書の充実を図るほか、読書の時間を設けるなど、子どもたちが読書週間を身につける取り組みを推進します。そして、各種団体と協力しながら、本に触れ合う機会の構築に努めます。

図書館	手作り図書館	既存の手作り図書館の充実と、新たな図書館の設立を目指す。	木の子文庫・龍門文庫
	お届け図書館	各団体が地域に出向いての事業	おはなしらんどカンブリア・人形劇団クラルテ
	おはなしフェスタ	中央公民館等でのイベント開催	

【安心安全で地域に開かれた学校づくり】

通学バス運行体制を継続するとともに、関係機関と連携し通学路の安全対策を講じます。また、各学校が災害時に避難所としても安全に使用できるように整備し、校庭や体育館を地域に開放し、地域に愛される学校づくりを進めます。

積極的な広報活動

これまでの子ども・子育て会議においてもご指摘のあったとおり、吉野町の多くの施策を町民の皆様はもちろんのこと、多方面に知っていただけるよう積極的な広報活動につとめます。HPを整理し、子育てポータルサイトを構築します。子育てメール配信内容の充実を図り、登録者の増加を目指します。